

■西条八十 詩人。「東京音頭」を頂点に、民謡・歌謡曲・軍歌などの作詞で一世を風靡、<敗戦>後もヒット作を続けた。

さいじょうやそ

大本教・・・1892＝ 東京市牛込区で、大地主の子に生まれる。"苦＝九"がないようにと八十と名づけられた。

日清戦争始・1894＝ 2歳：

子規句歌革新1898＝ 6歳：桜井尋常小学校に入学、松井喜一校長に影響を受ける。

田中正造直訴1901＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝13歳：

早稲田中学で英語教師の吉江喬松と出会い、文学に眼を開かされて、生涯の師と仰ぐ。当時よりイギリス婦人にも英語を学び、正則英語学校にも通った。

伊藤博文暗殺1909＝17歳：早大英文学部の予科に入学するも、半年で飛び出し、株仲間に引き込まれ、

韓国併合・・・1910＝18歳：

大逆事件判決1911＝19歳：再入学。

明治天皇没・1912＝20歳：_日夏耿之介らと{聖盃}を刊行(のち{仮面})。三木露風、川路柳虹、柳沢健、堀口大学らとも交遊。

この間、兄の放蕩から一家が没落、老母と弟妹を抱え、兜町通いをして、

21ヶ条要求・1915＝23歳：なんとか早大英文科を卒業。

民本主義・・・1916＝24歳：この年まで、株取り引きのいわゆる立ちん坊を続ける。結婚。_{{詩人}}創刊に参加。

ロシア革命・1917＝25歳：小さな株屋の外交員になった。

本格政党内閣1918＝26歳：*「かなりあ」(唄を忘れたカナリヤ)を発表、

ベルサレ条約・1919＝27歳：_処女詩集「砂金」を自費出版し、象徴詩人としての地位を確立、大正詩壇において、日夏、萩原朔太郎、佐藤春夫らとともに、通常"芸術派"とよばれる一群を形づくる。

大暴落・・・1920＝28歳：株が暴落、懐が空になって兜町と縁を絶ち、文学への愛情が燃え上がる。訳詩集「白孔雀」。妻と小さな出版屋に仮住まいしていたところに、_鈴木三重吉が突然訪ねて来て、{赤い鳥}の童謡運動に積極的に加わる。

原敬首相暗殺1921＝29歳：_童謡集「鸚鵡と時計」。

水平社結成・1922＝30歳：抒情小曲集「海辺の墓」、詩集「見知らぬ愛人」、

関東大震災・1923＝31歳：のちに薄幸の詩人と謳われる金子みすゞを発見・紹介もしている。_「肩たたき」。

護憲三派圧勝1924＝32歳：早稲田大学の留学生としてパリに行き、ソルボンヌ大学でポール＝ヴァレリーらと交遊、

円本時代始・1926＝34歳：帰国し、早大仏文学科教授。

金融恐慌・・・1927＝35歳：_総合詩集「西条八十詩集」刊行後は、

共産党事件・1928＝36歳：「当世銀座節」以降、_歌謡曲に手を染め、

世界恐慌・・・1929＝37歳：詩集「美しき喪失」。「東京行進曲」「鞠と殿さま」。主に中山晋平の作曲を得て、

海軍軍縮条約1930＝38歳：ビクターの専属となる。_「唐人お吉の唄」がヒットして映画化されて以降、超多忙になる。

満州事変・・・1931＝39歳：「女給の唄」「サムライ・ニッポン」「わたしこの頃変なのよ」。早大仏文学科教授となる。

五一五事件・1932＝40歳：「天国に結ぶ恋」「島の娘」「銀座の柳」。コロンビアに移籍するが、

国際連盟脱退1933＝41歳：「サーカスの唄」などをヒットさせて、ビクターに戻る。

帝人疑獄事件1934＝42歳：_2年前の「丸の内音頭」を発展させた「東京音頭」が大ヒット、

芥川直木賞始1935＝43歳：*日本全国を震撼させ、後々まで唄われる。

二二六事件・1936＝44歳：欧米を外遊。

日中戦争始・1937＝45歳：

健保+総動員 1938＝46歳：「愛染かつら」「支那の夜」。_従軍詩曲部隊の一員として戦地へ出発。

第二次大戦始1939＝47歳：「東京ブルース」、

大政翼賛会・1940＝48歳：「誰か故郷を想わざる」「蘇州夜曲」、以降は、主に古賀政男の作曲を得て、ヒットを重ねて行き、

日米開戦・・・1941＝49歳：

敗戦・・・1945＝53歳：早大教授を退任。

新憲法公布・1946＝54歳：

新憲法施行・1947＝55歳：_東京に戻って、活動を再開。自伝「唄の自叙伝」。詩集「一握の玻璃」、

三大事件・・・1949＝57歳：*映画とともに、服部良一作曲で藤山一郎が歌って、戦後の民主化のシンボルになった「青い山脈」、

独立回復・・・1951＝59歳：

TV放送始・・・1953＝61歳：日本音楽著作権協会会長。_「ゲイシャ・ワルツ」、

55年体制始・1955＝63歳：

国連加盟・・・1956＝64歳：自伝「唄の自叙伝」再刊。

安保闘争・・・1960＝68歳：

タイタイ病始・1961＝69歳：_船村徹が作曲し、村田英雄が歌って大ヒットした「王将」など、無数のヒットを放ち、

全国総合計画1962＝70歳：_日本芸術院会員。

東京オリンピック 1964＝72歳：

美濃部都知事1967＝75歳：論文「アルチュール・ランボオ研究」。_この年、作詞した「夕笛」は舟木一夫によって歌われ、最後のヒット曲となったが、三木露風の「ふるさとの」に酷似していたことから一時盗作騒ぎになった。

大阪万博・・・1970＝78歳：_没した。

シリーズ「人間の記録」、インターネットWikipedia、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、